

議題（１）刈谷市高齢者等実態調査の結果概要について

1 調査の目的

令和 8 年度に策定する「第 1 0 期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画（令和 9 ～ 1 1 年度）」の基礎資料とするため

2 調査期間・調査方法

（１）市民向け調査

調査基準日	令和 7 年 1 2 月 1 日
調査期間	令和 7 年 1 2 月 1 5 日から令和 8 年 1 月 1 5 日（3 2 日間）
調査方法	無記名のアンケート回答方式（郵送または W E B）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般高齢者調査 《対象者：6 5 歳以上の人（居宅要支援認定者、事業対象者含む）》 ・ 第 2 号被保険者調査 《対象者：5 5 歳から 6 4 歳までの人》 ・ 居宅要支援・要介護認定者調査 《対象者：要介護・要支援認定を受けている人》

（２）事業所向け調査

調査基準日	令和 7 年 1 1 月 1 日
調査期間	令和 7 年 1 1 月 5 日から令和 7 年 1 1 月 2 5 日（2 1 日間）
調査方法	アンケート回答方式（郵送及び、メールまたは W E B 回答方式）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所調査 《対象事業所：市内介護サービス事業所（住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、養護老人ホームを含む）》 ・ 訪問介護員調査 《対象事業所：訪問介護、訪問入浴介護、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護》 ・ 介護支援専門員調査 《対象事業所：居宅介護支援、介護予防支援、小規模多機能型居宅介護》

3 調査結果

(1) 市民向け調査回答状況

区分	一般高齢者	第2号被保険者	居宅要支援・ 要介護認定者
配布数(A)	2,200 件	2,000 件	2,000 件
回収数(B)	1,204 件	978 件	953 件
紙面回答	1,072 件	543 件	829 件
WEB 回答	132 件	435 件	124 件
回収率(B/A)	54.7%	48.9%	47.7%
有効回答件数(C)	1,197 件	973 件	910 件
有効回収率(C/A)	54.4%	48.7%	45.5%

(2) 事業所向け調査回答状況

区分	事業所	訪問介護員	介護支援専門員
配布数(A)	186 件	530 件	124 件
回収数(B)	131 件	191 件	96 件
回収率(B/A)	70.4%	36.0%	77.4%
有効回答件数(C)	131 件	191 件	96 件
有効回収率(C/A)	70.4%	36.0%	77.4%

4 分析にあたって

各調査において、主に以下のような調査項目から、年代別等のクロス集計、経年比較を行い、高齢者の実態を把握します。

各調査の主な分析内容は、特に着目する項目を抜粋して掲載しています。

(1) 一般高齢者調査

高齢者の介護予防をはじめとした健康に関するニーズや生きがいづくりに関する実態等を把握します。

問番号	主な分析内容
問 7～12、問 17～20、問 23、問 25～38、問 60、問 61	運動器、転倒、閉じこもりリスク等 10 項目について、機能判定の評価を行い、機能が低下している人を把握します。
問 40⑧、問 51～53	仕事の状況、高齢期の就労意向を把握します。
問 40①～⑦、⑨、問 41～50	地域活動等への参加状況、参加意向、参加条件、運営への協力の可否などを把握します。
問 65～73	健康づくり、介護予防の取組状況、取組への意向、参加条件を把握します。
問 75～問 79	認知症当事者を抽出し、当事者の考えを把握します。
問 82～84	身寄りがなくなることにに対して必要な取組を把握します。
問 86～90	終活に関する取組状況や今後の意向を把握します。
問 91、問 93～96	情報入手手段や相談の状況を把握します。

(2) 第 2 号被保険者調査

今後、高齢者となる方の介護についての考え方や社会参加に対する意向を把握するとともに、健康に関するニーズや生きがいづくりに関する実態等を把握します。

問番号	主な分析内容
問 6	介護が必要になった場合の今後の暮らしの意向を確認し、介護サービスに関する支援について把握します。
問 7～11	介護する側としての意向や不安を把握します。
問 12、問 15～17	高齢期の地域活動への参加意向を把握します。
問 13～15	高齢期の就労意向を把握します。
問 21～23	認知症当事者を抽出し、当事者の考えを把握します。
問 25～27	身寄りがなくなることにに対して必要な取組を把握します。
問 28、29	健康づくり、介護予防の取組状況と、取り組んでいない人の理由を把握します。
問 30～32	終活に関する取組状況や今後の意向を把握します。
問 34～36	情報入手手段や相談の状況を把握します。

(3) 居宅要支援・要介護認定者調査

介護保険サービスの利用状況、満足度等を把握するとともに、ケアプランや介護保険制度に対する意向等を把握し、介護保険サービスの充実と、公平・公正な介護保険制度の運営に向けた基礎資料とします。

問番号	主な分析内容
問 11～17	介護保険サービスの利用状況、利用意向、満足度を把握します。
問 18～21	現在の暮らしの状況や今後の意向、暮らしに必要なサービスを把握します。
問 22～24	認知症当事者を抽出し、当事者の考えを把握します。
問 29～31	身寄りがなくなることにに対して必要な取組を把握します。
問 33～37	終活に関する取組状況や今後の意向を把握します。
問 39	刈谷市における介護・医療連携の体制に関する評価を把握します。
問 43～57	介護者への設問として、介護の就労状況や介護の負担、希望する支援やサービスを把握します。

(4) 事業所調査

介護保険サービス利用者とサービス提供事業者等の間に潜在している意見や要望、サービス提供事業者の人材確保に向けた動きを把握し、問題点を洗い出します。

問番号	主な分析内容
事業所 問 7～10 介護支援専門員 問 14、15	介護職員やケアマネ以外でも対応できる業務である、いわゆるシャドウワークを把握します。
事業所 問 12～16	介護人材の確保状況、介護人材が不足している主な理由、現状の取組を把握します。
事業所 問 18～21	外国人従業者の雇用、雇用予定の有無を把握します。
事業所 問 22～26	I C TやA I、ロボットなどの導入、導入の予定を把握します。
介護支援専門員 問 5、問 6	サービス提供事業者からのサービス提供拒否の経験と、その理由を把握します。
介護支援専門員 問 16～19	医療関係者との連携の有無と、連携時に工夫していること、困っていること、必要なことを把握します。
介護支援専門員 問 23、24	現在供給が不足していると感じるサービス、今後需要が増加すると予測するサービスを把握します。
介護支援専門員 問 28～32	ケアマネが実際に関わった高齢者虐待の事例について把握します。
介護支援専門員 問 33～36	在宅生活が難しくなっている利用者の有無と、その理由から、現状の在宅生活の限界点を把握します。
介護支援専門員 問 37～39	刈谷市の介護人材についての所感と、不足している職種、介護人材の不足・確保に関して望む支援を把握します。